

小学校 第5学年 国語

○調査問題の趣旨・内容

【問題の学力レベル】 6-A

【問題の趣旨】

- 聞き手の理解や注意を促すための、発表原稿の工夫を理解する。

【問題の内容（正答率）】

- 発表原稿の工夫を説明したのとして最も適切なものを選択する。
(69.3%)

○指導上のポイント

- 伝えたいことがよく伝わるように相手のことを踏まえて理由や事例を選んだり、自分の伝えたいことの中心が聞き手に分かりやすくなるように話の構成を考えたりすることが大切である。話の中心は、話す目的と密接に関連して決まってくるため、話し手はその中心を明確にし、話す内容を構成する必要がある。

○活用力育成シート・定着確認シート等を活用した指導例

話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えるための指導

話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。

【学習指導要領 第5学年及び第6学年 A話すこと・聞くこと】

① 発表原稿の構成を工夫する。

② 「伝えたいこと」を明確にする。

③ 「自分の感想や意見」を明確にする。

④ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑤ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑥ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑦ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑧ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑨ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑩ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑪ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑫ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑬ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑭ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑮ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑯ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑰ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑱ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑲ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

⑳ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉑ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉒ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉓ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉔ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉕ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉖ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉗ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉘ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉙ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉚ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉛ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉜ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉝ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉞ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㉟ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊱ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊲ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊳ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊴ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊵ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊶ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊷ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊸ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊹ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊺ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊻ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊼ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊽ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊾ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

㊿ 「聞き手の理解や注意を促す」工夫を明確にする。

【出典】

「活用力育成シート」令和5年度 第1回 小学5年

【その他】

「活用力育成シート」令和3年度 第1回 小学5年
「全国学力・学習状況調査」令和3年度 小学校 国語

友達に「今、ちょうせんしていること」というテーマでインタビューをしましたね。インタビューしたことを学級の人々に紹介してもらいたと思います。

みんなにわかりやすく紹介するためには、発表原稿をどんなふう書けばいいかな。

そうですね。発表原稿の構成をどのように工夫したらよいかグループで話し合い、まとめましょう。

それじゃあ、始めに、聞いたことを書いて、その後にそれについての感想や意見を書くのはどうかな。

インタビューをしたことから、自分が一番伝えたいことを決めて書くことが大切だと思うな。

友達のちょうせんについて、自分がどう思ったのかという感想や意見を入れたほうがいいと思うな。

グループで話し合ったことをまとめて、先生に送ってください。各グループでどんな考えが出たのか、自分のタブレットで見てみましょう。

話し合ったことをまとめて、先生に送るよ。

・インタビューしたことで、一番伝えたいことを決めて書く。(始めに)
・自分の感想や意見を書く。(伝えたいことの後に)

【「授業スタンダード」の視点：友達との交流を通して、考えを共有・吟味させてねらいに迫る】

○調査問題の趣旨・内容

【問題の学力レベル】 8-C

【問題の趣旨】

- 意味段落に書かれている筆者の意見を読み取る。

【問題の内容（正答率）】

- 話題について具体的な例を述べた文にあてはまる言葉を文中から抜き出す。(65.8%)

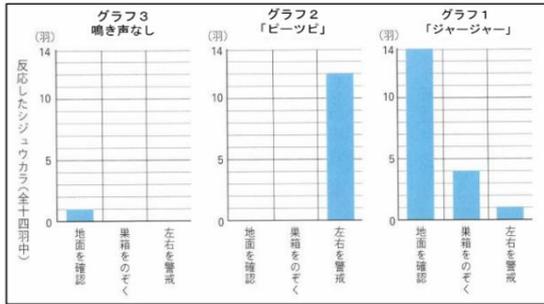
○指導上のポイント

- 他の問題に比べ、無解答率は9.5%と高い。内容の中心となる事柄や書き手の考えの中心となる事柄が文章全体を通してどのように構成されているのかを正確に捉えること、また、単一の情報のみに基づくのではなく、目的に応じて文章と図表などの情報を関係付けて検討するなど、複数の情報を結び付けて考えを形成することが求められる。

○活用力育成シート・定着確認シート等を活用した指導例

文章の構造を踏まえて要旨を把握するための指導

文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。
【学習指導要領 第1学年 C読むこと】



【出典】

「活用力育成シート」令和3年度 第1回 中学1年

○要旨とは

- ・ 文章で取り上げている内容の中心となる事柄
- ・ 書き手の考えの中心となる事柄

ポイント

○要旨を把握するために

- ・ 文章の構造を踏まえて、キーワードやキーセンテンスなどに留意して情報を整理し、正確に要旨を捉えられるようにすることが重要です。

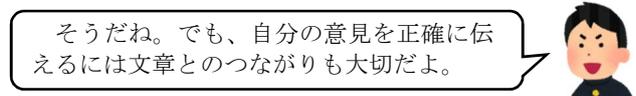
○授業のポイント

- ・ 文章を読んで得た知識や考えを学級で報告する、レポートにまとめるなど、単元のゴールを明確にすることで、何のために読むのかという目的が明確になり、話し合いも焦点化されます。

単元のゴール：レポートを書く
説明文を読む目的：説得力のあるまとめ方を学ぶ



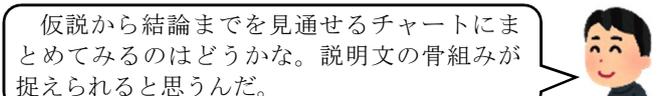
グラフを用いると、実験の結果がより分かりやすくなるね。



そうだね。でも、自分の意見を正確に伝えるには文章とのつながりも大切だよ。



グラフで示された実験の結果と筆者の仮説はどのように結び付いているのかな。主張したいことの根拠につながっているか、どうやったら確認できるだろう。

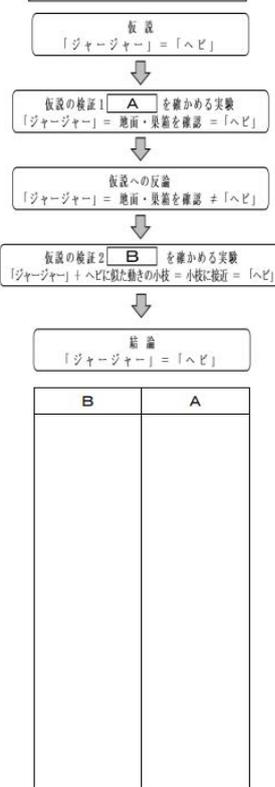


仮説から結論までを見通せるチャートにまとめてみるのはどうかな。説明文の骨組みが捉えられると思うんだ。



その方法はいいね。チャートを使って骨組みを考えることは、私たちがレポートを書くときにも生かせそうな気がするよ。

水沢さんのステップチャート



二 水沢さんは、この説明的文章をステップチャートにまとめて整理しようと考えました。次の図は水沢さんが整理したステップチャートです。

①

「ジャージャー」という鳴き声を流したときのシジュウカラが示す行動で最も多いのは(①)することである。「ビーツピ」という鳴き声を流す場合や鳴き声を流さない場合は、そのような行動はほとんど見られない。この実験結果から、筆者は、シジュウカラが「ジャージャー」という鳴き声を聞いたとき(①)する理由は、親鳥が(②)ためではないかと考えた。

②

【「授業スタンダード」の視点：ねらいを明確にして単元や本時の授業をつくる

「ペアやグループでの話し合い」で思考を整理し、新たな気づきを得る】

○調査問題の趣旨・内容

【問題の学力レベル】 8-C

【問題の趣旨】

- 聞き手の立場に立って、注意を引くよう話す工夫ができる。

【問題の内容（正答率）】

- 話題を提示する話し方の工夫と効果について説明したものとして適切なものを選択する。（69.5%）

○指導上のポイント

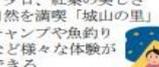
- 報告やプレゼンテーションをする際に、自分の考えを分かりやすく伝えるための表現の工夫として、資料や機器を用いることに重点が置かれている。「何をどのようにすれば相手に伝わるか」という視点を明確にして助言し合う活動を通して、相手と目的を再確認し、相手にとって必要な情報の選択や資料のより効果的な提示について検討する必要がある。

○活用力育成シート・定着確認シート等を活用した指導例

資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わる表現を工夫する指導

資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること

【学習指導要領 第2学年 A話すこと・聞くこと】

【進行案】 テーマ：「我が町、城山町へようこそ」		
【提示資料】	【説明内容】	【時間】
<p>1 城山町の魅力発見！</p> <p>赤く映える町 城山町</p> 	<p>初めに ①キャッチフレーズ 「赤く映える町、城山町」 ②城山町の概要 どこに位置しているか (地図) 「セールスポイント2つです。」</p>	30秒
<p>2 「食」の魅力</p> <p>①糖度が高い。(糖度を比較した表) ②トマトを使った料理 ③そば、アスパラガス</p> 	<p>「食」の魅力 ①特産品であるトマト(写真) ②トマトを使った商品例(写真) ③トマト以外のおいしい食べ物</p>	2分
<p>3 「自然」の魅力</p> <p>①城山展望台の夕日、紅葉の美しさ ②自然を満喫「城山の里」 →キャンプや魚釣りなど様々な体験ができる</p> 	<p>「自然」の魅力 ①城山展望台から一望できる城山町の風景 ②城山の里 体験できることの紹介(写真)</p>	2分
<p>4 お待ちしています！</p> <p>赤く映える町 城山町</p> 	<p>まとめとピーアール 様々な体験ができる町 「ぜひ、我が町『赤く映える町、城山町』へお越しください。」</p>	30秒

【提示資料②の発表原稿】

まずは、城山町の自慢のポイント「食」について紹介します。
皆さんは、トマトは好きですか。城山町は全国でも有数のトマトの生産量を誇っています。自慢すべきところは、生産量だけではありません。こちらの表をご覧ください。(「糖度を比較した表」を指しながら)表から分かるように他の県や地域で獲れるトマトよりも糖度が10パーセント近くも高いのが特徴です。
生のままでも甘くておいしいトマトですが、調理をしても、その良さが引き立ちます。(商品の写真を見せながら)「トマトラーメン」や「トマトカレーパン」は、町の名物料理としてテレビや新聞でも取り上げられ、現在注目を浴びています。
トマト以外にもそばやアスパラガスなどおいしいものは、まだまだたくさんあります。ぜひ、おいしい「食」を楽しんでください。

【出典】

「活用力育成シート」令和2年度 第2回 中学2年

【その他】

「活用力育成シート」令和元年度 第3回 中学2年

「定着確認シート」平成26年度 第4回 中学2年

◎左の2つの【資料】を基に、話し合い活動をコーディネートする場面



川村さんのプレゼンテーションの改善点について、こうすれば、もっと姉妹校の生徒に伝わるという点はないかな。



僕は、キャンプや釣りに興味がある生徒は多いと思う、実際に体験してもらえば、素敵な思い出になると思います。だから、【提示資料】の最初の1で、城山の里について写真や動画で体験できることを見せて、楽しそうに話してはどうでしょうか。



たしかに。相手は皆さんと同じ中学生ですからね。首都圏ではなかなかできない体験を見せて城山の里の楽しさを前面に出せば、より興味をもってくれそうですね。【提示資料】の2も写真で1と似てますが、【発表原稿】を読んで、こうすればと思う点はありませんか。



【発表原稿】では、トマトの糖度を具体的に示していてとてもいいと思います。でも、キャンプや釣りと比べると、「体験してみたい」と思ってもらえるまでには、何か足りないような気がします。



なるほど。Bさんが足りないと感じている、この「何か」について、もう少し詳しく説明できる人はいませんか。



つまり、糖度の数字を表で示しただけでは、甘さやおいしさを伝え切れないうことではないですか。



川村さん、いろいろな意見を聞いてみて、何を使って、どのように話せば、より分かりやすく伝わるか、ヒントが見つかりましたか。



話し合いの論点や議題を明確にするだけでなく、問い返しやゆさぶりなどの働きかけをしたりすることによって、多様な意見が出るように促すことが大切です。

【「授業スタンダード」の視点：子どもたちの考えを基に話し合いをコーディネートし、ねらいに迫る】